



20 大建収 165 号～2
平成 20 年 10 月 14 日

国土交通省道路局長 殿

東京都大島町長

藤井 静 男



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成 20 年 9 月 19 日付 国道企第 37 号で依頼のありました、表記の件について

別紙のように回答します。

今後の行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式①

東京都 大島町

当町は車の依存度の高い地域であり、道路は地域の日常生活や経済活動(観光産業の比重高い)を支え
欠くことのできない社会基盤であり、地方が自立するための基礎条件であります。また、救急医療や災害時
には命の道となります。このような中、日常生活・経済活動の両者を取入れた道路行政を進める上での課題
は、財政環境が非常に厳しい状況であるため、国及び東京都の補助事業に採択されなければなりません。
然しながら、当町は昭和30年合併時、村道を引継いだ未改良な幅員3.5m未満な道路が72.5%を占めて
いる現状のため、早急な整備を進めるためには採択基準の緩和を要望するものです。

今後の行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式②

東京都 大島町

○現状 幅員の狭い、生活道路のため高齢化率30%を超える 当町は歩行者が安全・安心に通行できる現状ではない。	○課題 歩道設置率1.6%の改善を図る。
---	------------------------------------

今後の行政についての意見・提案
②-2 地域の目指すべき将来像

様式③

東京都 大島町

道路整備を計画的に取り組んでいくとともに安全性と環境に配慮した、高齢者・障害者をはじめとする

歩行者が安全に通行できるバリアフリー化の充実を図り、人と自然にやさしい道路づくりを図る。

また、観光地「大島」の文化や自然を活かし、景観にも配慮した道路整備を促進する。

今後の行政についての意見・提案

③ 道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式④
東京都 大島町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	離島である大島固有の自然環境や 景観の保全、観光振興等を図る。	当町の観光産業が占める割合 は大であり、公共事業と (定住、雇用促進策等の振興) 連携し、離島の発展を促進する。	